

## 留守番電話

電話に出られないときも安心！電波の届かない場所にいたり、電源を切っている場合などに伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 初期設定では留守番電話「開始」、呼出時間 15 秒に設定されています。
- 伝言メッセージの再生や応答メッセージの変更時には通話料がかかります。
- お預かりできるメッセージは 1 件あたり最長 3 分、最大 20 件です。
- メッセージは録音時から 72 時間を超えると自動的に消去されます。
- 一部のスマートフォンでは、伝言メッセージの件数が SMS（ショートメッセージサービス）にて配信されます。

## 伝言メッセージの再生・保存・消去

新しいメッセージ

1 4 1 7

保存したメッセージ

1 4 1 6

ガイダンスに従ってメッセージを再生

- 1 もう一度聞く
- 2 保存する
- 3 消去する
- 4 次のメッセージを聞く

終了

## メッセージ再生中のその他の操作

6 4 ひとつ前のメッセージに戻る

7 5 秒巻き戻す

\* 再生を停止し、メインメニューへ戻る

6 5 再生中のメッセージの受信日時を聞く

8 メッセージを一時停止 (20 秒)

# 再生中のメッセージを飛ばし、次のメッセージを再生

6 6 再生中の発信者番号を聞く

9 5 秒早送り

## 留守番電話の開始・停止

※留守番電話を「停止」にしても、月額利用料は発生します。

開始 1 4 1 1

停止 1 4 1 0

## 呼出時間の設定

※伝言メモを同時に設定していて留守番電話を優先させる場合は、伝言メモの呼出時間より短く設定してください。

1 4 1 9

(秒数を入れる)

## 応答メッセージの作成・変更

※初期設定では「全てシステム音声」に設定されています。

「全て自分の声」にする場合

1 4 1 6

メッセージ録音

# 1 \* \*

「名前のみ自分の声」にする場合

1 4 1 6

メッセージ録音

# 1 \* \*

「全てシステム音声」にする場合

1 4 1 6

\* \*

## 発信者番号案内の開始・停止

伝言メッセージ再生時に、発信者の電話番号も音声で聞くことができます。

※初期設定では「停止」に設定されています。

※本機能「停止」時にお預かりした伝言メッセージについても、本機能「開始」設定後に伝言メッセージを再生すると、発信者番号も聞くことができます。

1 4 1 6

9 3 2 \* \*

以下の場合には本機能の対象外となり、発信者番号は再生できません。

- × 発信者の意思により発信者番号を通知しない場合
- × 公衆電話から発信の場合
- × 発信者番号を送出することができない回線からの発信の場合
- × 本機能が停止の場合

## 不在案内の設定・応答メッセージの録音方法

長期出張や休暇の際に電話に出られないことを伝え、伝言メッセージをお預かりしない機能です。

※不在案内機能と留守番電話機能を同時に設定することはできません。また、テレビ電話には対応しておりません。  
※不在案内の応答メッセージはご自分の声の録音のみとなり、システム音声のご用意はありません。

## 応答メッセージの録音

1 4 1 6

メッセージ録音

# 1 \* \*

## 応答メッセージの変更

1 4 1 6

メッセージ録音

# 1 \* \*

## 留守番電話から不在案内、不在案内から留守番電話への切替

1 4 1 6

\* \*

※留守番電話機能、不在案内機能、それぞれの応答メッセージが登録されている場合のみ可能な操作です。

※不在案内機能も開始 / 停止ができますが、不在案内機能の状態では停止にすると、次の開始時も不在案内機能のままになります。  
不在案内機能使用後は、留守番電話機能への切替を忘れないようご注意ください。

## キャッチホン

通話中にかかってきた別の電話を信号音（通話中着信音）でお知らせします。お話し中の通話を保留にしたまま、後からかかってきた電話を受けられます。

- 本サービスは、キャッチホンサービスご契約時にすでに設定されています。
- 通話保留中も発信者に通話料がかかります。
- サービスを停止にしても月額利用料は発生します。
- 以下のような時には本サービスをご利用いただけません。

1. 110 番、119 番など 3 桁の番号にかけている時
2. テレビ電話中に音声電話がかかってきた時や、音声通話中にテレビ電話がかかってきた時
3. ダイヤル中や相手を呼出中の時
4. 留守番電話サービスをご利用のお客様で、留守番電話サービスセンターに接続されている間
5. データ通信を行っている時